

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年9月16日(水) No.27
文責：情野 夏美

田林先生！小研ありがとうございました！

小研第1号は、田林先生でした。マイペース学習も一緒に行っていただきました。丁寧な教材準備や細やかで、深い読みに迫った声かけなど勉強になることばかりでした。参観された先生方からいただいた感想用紙をまとめましたので、ご覧ください。

4年1組 国語科 気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう 「ごんぎつね」

視点1「自分で学びを進める子ども」について

- ① 児童に、本時の課題を提示し、それぞれが目指したい「めあて」を立てる。
 - 「ごんと兵十の～」、「様子から～」等、具体的に自分でめあてを立てている子の言葉を教師が拾って、価値づけしているところがよかった。
 - 自分でめあてを立てることで、自分事として考えることができていた。
 - 課題があることで、本時のねらいからそれないめあてになっていた。教師が意図して、何を考えてほしいか、何を学んでほしいかを、子ども達と共有できていたと思う。
- ② 学び方や、学びに必要なものを自分で選んで学習する。
 - 先生と学習するコース、自分たちで学習するコースと分けていてよかった。
 - 教材が、教科書、ロイロ、プリントと3種類あり、児童は自分が使いやすいものを選んで使っていたのがよかった。
 - 話し合いながら、本文の言葉に返っている姿があった。
 - 単語や言葉の意味の説明がありよかった。
 - 「きらきらコース」(先生と学習するコース)のプリントには、ヒントが書き込まれていて、先生が支援をしやすい場所づくりができていた。
 - マイペース学習の最大の良さは、子ども自ら「やろう」という気持ちにできるところだと今日改めて感じた。
 - 子ども達がこの時間何をすることが明確で、自分たちで進めることができていた。
 - 自分達で学習を進めて達成感を味わった上に、全体で一斉のまとめの時間があったのは大変有効だったと思った。学びがさらに深まっていた。
 - 全体共有では、電子黒板でその場面の文や絵を確認してもよかった。
- ③ 「かわでもと」に沿ったふりかえりを毎回プリントに行い、学習の成果が見えるようにする。
 - どれを選んだか、書く欄があって、意識してか書けていてよかった。
 - めあてに沿ってポイントをしぼると、さらに本時での学びの足跡が残せるかなと思った。



視点2「課題や疑問を解決するために対話する子ども」 について

○言葉の意味があることで、本文をなぞるだけでなく、「こう書いてあるから、秋だ。」等、深く読むきっかけになっていた。児童は、必要感を持って自然と対話ができている。

○最後に必ず1人1つは発言することで、課題にも向き合っていた。

○友達と会話をしながら、答えをどんどん書けていて、困って白紙の人がいなかった。教え合う場面もあって、とても自然なやり取りができている。

○教科書をよく読み、お互いの考えを聞き合い、全員が納得いくところでワークシートを記入していた。とても良い姿で対話していた。

○マイペース学習やグループ学習に慣れていて、活発に話し合っている様子だった。

○活発なやり取りが清々しかった。自分の意見や予想を主張しながらも、友達の思いに耳を傾ける姿に感心した。

○田林先生の声かけ、寄り添いが細やかかっていたので、誰一人取り残されていなかった。

○線を引いたり、書き込んだり、つなげたりしながら、国語の学習法の一つを身に付けていていいなと思った。

○となりの人と確認しながら課題解決を行っていた。そのため、疑問などを話しながら解決している様子も見られた。それぞれの場面を想像しながら書いたり、話したりしていたため、深く学べていたと思う。

●答えを見て丸を付ける際に、意味は十分あっているのに、一言一句あっていないと、間違いにする子もいたので、読み取りと答えを照らし合わせる力も必要になってくると感じた。



その他

○マイペースをすると、全体のまとまりがなくなることもあるが、細やかな支援や準備物、全体でのまとめの時間があることで、すれなく学習を進めることができてよかった。

○学習の流れ、今どこまで学習しているのか、単元構成がしっかりされていた。見通しを持って、安心して取り組んでいた。

●本時のめあてが、「気持ちの変化に～書こう。」なので、☆の所を取り上げて交流させたり、最後に書いた感想を交流させたりしてもよかった。

